

SPORECON L.P.C

スポアコン L.P.C

ユニバース開発株式会社

バイオロジックス社のスポアコン L.P.C は、バチルス系微生物を選定し、相乗的に配合した製品です。これらの菌種は、芽胞状態に作られています。それぞれの菌種は例えば獣脂、油脂、タンパク質、澱粉、糖類、セルロースなどの有機物を迅速に生分解するよう選択してあります。

スポアコン L.P.C は迅速な生物活性のニーズに応じて開発されました。この迅速な活性は、分解能力を劇的に高めるために、酵素（リパーゼ・プロテアーゼ・セルラーゼ）を添加したことによるものです。

選択された菌と遊離酵素により、あらゆる有機物に2段攻撃をかけます。

用途

- ・洗濯の前処理剤
- ・表面の汚れ取り
- ・カーペットや織物の清掃
- ・有機質のひどい汚れ
- ・トラップ、排水管のメンテナンス
- ・部屋の清掃と消臭

特色

- ・広範囲な環境耐応性
- ・強力、広範囲な有機物を分解
- ・3種類のバチルス菌による幅広い用途
- ・リパーゼ・プロテアーゼ・セルラーゼにより迅速に活性化されます

物性

外観	淡いアンバー
比重	1
pH	7.5~8.5
最適pH値	6.0~9.5
有効温度範囲	13~45℃
貯蔵安定性	1年
標準包装	18.9l/缶

貯蔵・取扱上の注意

- ・乾燥した涼しい場所で保管してください
- ・過度の吸入をしないよう注意してください
- ・取扱後は、ぬるま湯で石鹸を用いてよく手を洗ってください



バイオ消臭剤「スポアコンLPC」による悪臭対策



1、概要

現場 : 某浄化センター(下水処理場)跡地

業務 : 消化槽汚泥の回収

背景 : 近隣に住宅が多く、悪臭(主に硫化水素)対策として使用

内容 : 汚泥吸引時の高圧洗浄タンクに混ぜ、散布しながら作業を実施。

詳細 : 実稼働日数35日

: 作業時、作業終了時の仕上げに散布を実施。

: 28缶使用(100~200倍に希釈)

: 回収汚泥1,500m³に対し、高圧洗浄水1,000m³(28缶分の約530L含む)

使用量 : 汚泥1m³当たり、約353cc使用

結果 : 近年、問題になりやすい近隣住民からの苦情は1度も無く、
施主様からの要望に応える事ができた。

2、商品

商品名 : スポアコンLPC

荷姿 : 液体バイオ製剤(18.9L)

製造元 : 米国ロジックス社製

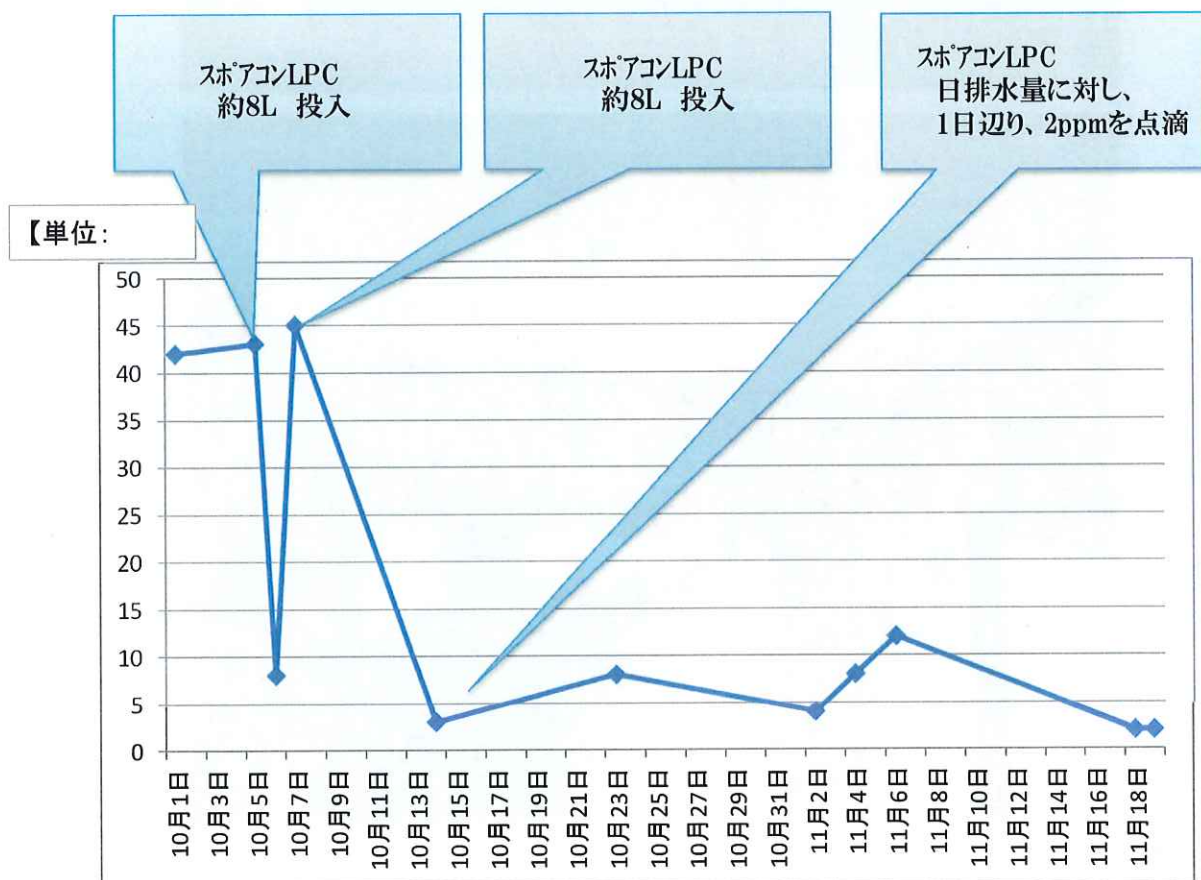
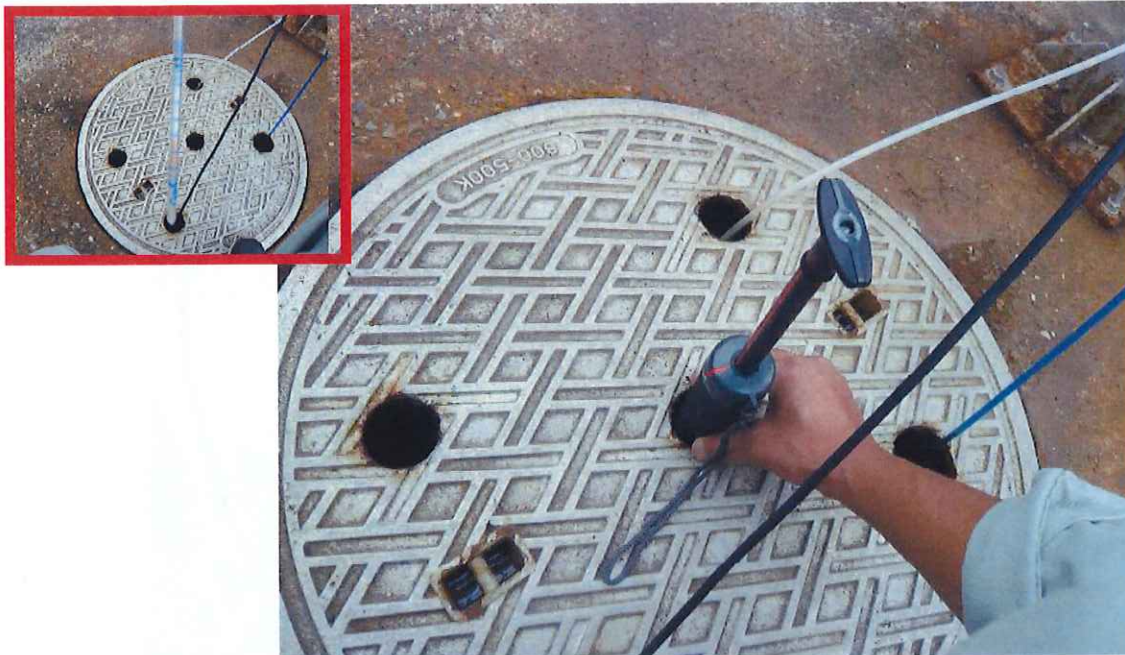
特徴 : バチルス系微生物を選定し、相乗的に配合された製品です。即効性のある消臭効果は、酵素(リパーゼ・プロテアーゼ・セルラーゼ)を添加したことによるものです。通性嫌気性菌の為、劣悪な環境でも有効に働くことが可能である。特に、硫化水素対策として、幅広い分野で活躍しております。



スポアコンLPC(18.9L/缶)
酵素入り液体バイオ製剤

< 調整槽 硫化水素対策 >

日排水量700m³の某食品工場。近隣からの苦情によりテスト実施。



近隣の苦情により、LPCで対応 → 低いレベルでの濃度管理が可能となる

< 特殊清掃 >



使用方法)

- ・悪臭に応じて、「ｽﾎﾟｱｺﾝ LPC」を 2～5 倍希釈で噴霧し浸透させる。

< パッカー車洗浄廃水 悪臭対策 >



□ 100倍に希釈して、パッカー車を洗浄



□ 洗浄廃水の悪臭は、ほとんど気にならなくなった

< 掘削土壌 悪臭対策 >



□ 土壌からの悪臭は抑制された

< 脱水ケーキ 悪臭対策 >



□ 汚泥貯留槽に点滴する事により、ケーキの臭いが改善された

< 配管詰まり・悪臭対策 >



① 計量カップに60ccを入れる



② 栓をして、シンクに注ぐ



③ 水道水を入れる



④ シンクの3/4位に、水を溜める



⑤ 栓を抜き、一気に流す



⑥ 残った泡を洗い流す

MSDS (製品安全データシート)

2011 年 6 月 1 日改定

1 製品及び会社情報

製品の名称 : スポアコン L P C

会社情報

会社名 : バイオロジックス プロダクト グループ インク

住所 : 米国 ミズリー州 セントルイス市 フェアビューアヴェニュー1561

電話番号 : 800-747-1885

ファックス番号 :

推奨用及び使用上の制限 : 消臭用バイオ製剤 (濃縮タイプ)

2 危険有害性の要約

GHS 分類区分

物理化学的危険性 : 該当せず

健康に対する有害性 : 分類の基準に該当しない

皮膚感作性 : 区分外

生殖毒性 : 区分外

特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) : 区分外

特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) : 区分外

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性毒性) : 区分外

水生環境有害性 (慢性毒性) : 区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : 標記ラベルなし

注意喚起標記語 : 該当しない

危険有害性情報 : 該当しない

注意書き : 経口しないこと。目に入れないこと。

[安全対策] : 取扱い後は良く手洗うこと。

[応急措置] : 経口した場合、医師の診断/手当てをうけること。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断/手当てをうけること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てをうけること。

[保管 (貯蔵)] : 換気の良い涼しい場所に置くこと。
直射日光を避けること。

[廃棄] : 容器は国や地方自治体の規則に従って廃棄すること。

重要な危険有害性 : なし

3 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別 : 単一物質

化学名又は一般名 : 消臭用の環境バイオ製剤

成分情報 : 培養バクテリア

GHS 分類に寄与する危険有害成分 : なし

4 応急処置

暴露経路による応急措置

- 皮膚に付着した場合： 水又は温水で洗うこと。
皮膚に異常が生じた場合、医師の診断/手当てをうけること。
- 目に入った場合： 清浄な流水で十分に洗うこと。異常があれば医師の診断をうけること。
- 飲み込んだ場合： 無理に吐き出さず、直ちに医師の診断/手当てをうけること。

予想される急性症状及び遅発性症状

経口摂取による消化器系の不調（下痢等）のおそれ

応急措置をする者の保護： なし

5 火災時の措置

引火性なし

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 経口摂取を避ける
- 環境に対する注意事項： 不要
- 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法： 不要
- 二次災害の防止策： 不要

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 不要
- 安全取扱い注意事項： 取扱後は手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

- 技術的対策： 保管場所に換気の設備を設ける。
- 混触禁止物質： 高温物、強酸化剤、強アルカリ剤、殺菌剤
- 保管条件： 冷暗所に密閉して保管する。
加熱されたり、直射日光が当たらない場所に保管する。
- 容器包装材料： 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度・作業環境評価基準： 該当せず
- 許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）： 該当せず

保護具

- 呼吸器の保護具： 不要
- 手の保護具： 不要
- 眼の保護具： 不要
- 皮膚及び身体の保護具： 不要
- 設備対策： 不要
- 衛生対策： 取扱い後は手を洗うこと。
取扱い場所の近傍では飲食、喫煙の禁止。

9 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質の基本情報

外観：	液体
臭い：	発酵臭あり
引火点：	なし
溶解度：	該当せず
沸点：	100℃
蒸気圧及び蒸気密度：	水と同等
揮発性：	水と同等
比重：	1.0
融点：	該当せず

10 安定性及び反応性

安定性：	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性：	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	直射日光を避け、冷暗所に保管する。 過度の熱、強酸、強アルカリ、殺菌剤の接触を避ける。
混触危険物質：	高温物、強酸化剤、強アルカリ剤、殺菌剤との接触
危険有害な分解生成物：	なし

11 有害性情報

製品の有害性情報：	バイオセーフティーレベル 1 の安全菌を使用
成分の有害性情報	
急性毒性：	なし
皮膚腐食性及び刺激性：	なし
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性：	なし
皮膚感作性：	なし
生殖細胞変異原性：	なし
発がん性：	なし
生殖毒性：	なし
特定標的臓器特性（単回暴露）：	なし
特定標的臓器特性（反復暴露）：	なし
その他の有害性情報：	なし

12 環境影響情報

製品の環境影響情報：	なし
成分の環境影響情報：	なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は洗浄して、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切に処分を行う。

空容器は廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14 輸送上の注意

国際規制： 該当せず。

国内規制

陸上規制情報： 消防法に該当せず。

航空規制情報： 該当せず。

海上規制情報： 該当せず。

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号： 該当せず

輸送上の対策： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16 その他の情報

なし

【注意】本 MSDS は、労働安全衛生法による作成義務はありませんので、自主的に提出するものです。
本 MSDS は、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いには注意して下さい。使用者は固有の目的に応じ情報、製品の適正を調査すること。本 MSDS は如何なる法律違反や、既存特許に該当する発明を真似ることを承認、推奨するものではありません。

BioLogix®

TECHNICAL APPLICATION SERIES

"TOMORROW'S BIOTECHNOLOGY... TODAY"

BioLogix 製品の安全性

バイオロジックス社の製品は先端技術を駆使した最新のバイオ製剤で、厳密な生産管理と品質管理を経てお届けしております。

とかく、微生物製剤と言えど細菌からの連想で懸念と偏見を持って見られる場合が無きにしも非ずと言う国内の現状があります。いわゆるバイオハザードもそのひとつですがご心配は無用です。

過密化する都市環境のなかで、健康的に快適な居住空間を作り上げ護っていく上で在来の化学品一辺倒の時代から、自然と環境にやさしい生化学的製品が市場で求められる時代となります。

安心して使用できる商品であることを理解いただく一助にバイオロジック製品の安全性に関する資料を参考にして新しいマーケットと需要の創造にチャレンジするチャンスが到来しました。

【正規直輸入品】 製品は全て米国セントルイス市のバイオロジックス社の生産工場から正規の通関を経て直輸入されます。 輸入通関の手続きには植物防疫検査所による審査を伴い安全性の確認が行われております

【ATCC規格】 米国菌株保存機関 (ATCC)による分類規格 Type I
バイオロジックス製品は最も安全性の高い分類です

【NSF規格】 NATIONAL SANITATION FOUNDATION
(米国衛生安全機構 NSF)

「食品を扱う場所における安全性」については、従来米国農務省(USDA)管轄で認可制度がとられていましたが、1999年からNSFに移管され申請登録制となりました。
バイオロジックス製品は農務省時代に認可済。

【製造者証明書】 バイオロジックス社は製造ロットごとにサルモネラ菌混入のない旨の検査を実施し、要請により証明書(Certificate)を発行致します。

製造元 BioLogix Products Group Inc.
USA

輸入元 ユニバース開発株式会社

